

ポルトガル

主要データ

国名〔英名〕	ポルトガル共和国〔Portuguese Republic〕
面積(km ²)	92,090
海岸線延長(km)	1,793
人口(百万人)	10.8
人口密度(人/km ²)	117.4
GDP(十億 US\$)	201.04
一人当り GDP(US\$)	19,323.97
主要鉱産物：鉱石	銅、亜鉛、銀、タングステン
主要鉱産物：地金	
鉱業管轄官庁	ポルトガル経済革新省、地質・エネルギー総局 (DGEG: Direcção Geral de Energia e Geologia)
鉱業関連政府機関	-
鉱業法	有用鉱物を含む堆積物の採掘及び開発に関する法令(法令第 90/90)、地下資源基本法(法令第 88/90、1990 年 3 月 16 日制定)
ロイヤルティ	契約ごとに異なるが、鉱山生産価値に対して平均 2~4%。
外資法	EU 政策により外国投資家は国内の投資家と平等に扱われる。
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	欧州の環境に関する EU 指令が年々厳格化されているため、政府は EU 基準に合わせて、探鉱活動や鉱山事業に関する法律の改正を行っている。ウラン探鉱の許可に關しての政府の決定が引き続き待たれる。
鉱業公社	EDM (Empresa de Desenvolvimento Mineiro, S.A)
鉱業活動中の民間企業	Lundin Mining、双日(株)等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	特になし。
2014 年のトピックス	特になし。

1. 鉱業一般概況

Neves-Corvo 銅・亜鉛鉱山で亜鉛生産の拡大に関する FS が進められており、FS の結果次第では、2017 年から亜鉛生産量をさらに増大する予定である。また同国ではタングステンが生産されており、タングステンの探鉱活動も行われている。

2. 鉱業政策の主な動き

現行の鉱業法は、1990 年に制定されて以降大きな変更はないが、ポルトガル政府は現在鉱業政策の見直し作業中である。探鉱権については、期間は探鉱権 1 件につき最大 5 年間(延長を含む)、面積は 1 件につき 1,000km² 未満と制限されている。鉱業における環境規制に関しては、年々厳格化する EU 指令に合わせ改正が行われており、環境影響評価に関する規制が改正予定となっている。

同国にはウラン資源の賦存が確認されているが、DGEG によれば、戦略的鉱物資源であるウラン探鉱の可否は、ポルトガル政府の決定及び許可次第である。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2012 年 (千 t)	2013 年 (千 t)	2014 年 (千 t)	対前年 増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
銅	74.0	77.1	75.2	-2.5	0.4	28
亜鉛	30.0	53.4	67.4	26.2	0.5	19
錫	0.00	0.08	0.08	9.1	0.02	16
チタン	0.1	0.1	0.1	0.0	0.003	19
タングステン	0.8	0.7	0.8	12.3	0.8	8

出典：World Metal Statistics Yearbook 2015

(2) 主要金属地金生産量

僅少

(3) 主要金属地金消費量

僅少

(4) 主要金属輸出力

表 3-2. 精鉱・地金等輸出力

鉱種	2012 年 (千 t)	2013 年 (千 t)	2014 年 (千 t)	対前年 増減比 (%)	主な輸出相手国
銅鉱石	312.1	328.3	320.1	-2.5	フィンランド、スペイン、 ドイツ

出典：World Metal Statistics May 2015

(5) 主要金属輸入量

表 3-3. 精鉱・地金等輸入量

鉱種	2012 年 (千 t)	2013 年 (千 t)	2014 年 (千 t)	対前年 増減比 (%)	主な輸入相手国
銅地金	4.7	5.1	7.6	49.0	スペイン、フランス
亜鉛地金	11.1	10.4	8.5	-17.8	スペイン、オランダ、ルク センブルグ
鉛地金	8.5	12.4	11.1	- 10.6	スペイン
錫地金	0.4	0.5	0.5	1.0	スペイン、オランダ、英国

出典：World Metal Statistics Yearbook2015, International Trade Centre

4. 鉱山・製錬所状況

・ Neves-Corvo 銅・亜鉛・銀鉱山

Neves-Corvo 鉱山は、イベリア黄鉄鉱帯の西部に位置する坑内掘鉱山で 1989 年に生産を開始して以来、欧州有数の銅鉱山として操業し、2006 年からは亜鉛の生産も開始した。Lombador 鉱床及び Semblana 鉱床では探鉱活動も続けられている。

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益: %)	鉱種	2014 年 生産量 (t)	備考
Neves-Corvo	Lundin Mining (本社: Toronto) 100%	銅 亜鉛 鉛 銀	51,369 67,378 3,192 1,388 (oz)	・Lombador 鉱床での亜鉛生産が 2013 年 Q3 に開始し、亜鉛の生産量が大幅に増加し た。 ・亜鉛生産量の拡大に関する FS が行われ ており、2015 年半ばには調査が完了予定で ある。
Aljustrel	MTO SGPS, SA, 99.90% Unnamed Owner, 0.10	銅 亜鉛	— —	・2008 年 11 月以降は亜鉛価格の低迷によ り、鉱山設備メンテナンスを継続し、亜鉛 生産を休止。2010 年後半に銅・銀鉱石の生 産を開始、亜鉛生産は 2014 年に再開予定 とされていたが再開に関する発表無し。
Panasqueira	双日(株)の子会社である Sojitz Beralt Tin & Wolfram S.A. 社 (本社: Portugal) 100%	タングステン 銅 錫	1,174 352 103	

(出典: 各社の年次報告書 2014、ポルトガル地質エネルギー局 [DGE])

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト名	鉱種	保有企業(権益: %)	備考
Lagoa Salgada	鉛・亜鉛	Portex Minerals 社(本社: Toronto) (100)	同多金属探鉱プロジェクト は、鉱床の評価段階にある。 2013 年 9 月にポルトガル国 営企業の Empresa de Desenvolvimento Mineiro 社 と JV 契約を締結し、探鉱権 を取得。
Tabuaço	タングステ ン	Colt Resources 社(本社: Montreal) (100)	2013 年 10 月に予備的経済評 価 (PEA) を完了し、2014 年 2 月には試掘プログラムのフ ェーズ 1 を終了した。2015 年 Q4 より Bankable FS を予 定し、2016 年 Q1 に建設着工、 2017 年の生産開始を予定し ている。
Alvalade	銅・亜鉛探鉱	Antofagasta Minerals 社 (本社: London) (75)	Avrupa Minerals 社(本社: Vancouver) と共同で探鉱活 動を進めており、2014 年 6 月にフェーズ 4 の試掘プログ ラムを開始し、塊状硫化物鉱 床のほか有望な鉛・亜鉛・銅 の鉱床を複数発見している。 2015 年 9 月 3 日には Colt Resources(本社: Montreal) が Avrupa Minerals 社の有す る権益のうち 60% を 7,100 万 US\$ で取得し、同プロジェ クトの開発段階への参画を 発表した。
Alvito	銅	Avrupa Minerals 社・Lowell Copper 社 (本社: Vancouver)	

Alvalade JV	銅	Avrupa Minerals 社・Colt Resources 社	
Borba	銅	Colt Resources 社(100)	
Alcoutim	銅	未公開企業(80)・Kunene Resources(本社: Perth)(20)	
Malhadinha	亜鉛	Lundin Mining 社(本社: Toronto)(100)	
Ossa Morena Portugal	ニッケル	Lundin Mining 社(100)	
Marateca	銅	Avrupa Minerals 社(100)	
Covas	タングステン	Avrupa Minerals 社・Blackheath Resources 社(本社: Vancouver)(85)	



図 1. 主な操業鉱山・探鉱開発案件の位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 6. 日本への精鉱・地金輸出量

鉱種	2012 年	2013 年	2014 年	対前年増減比 (%)
タングステン鉱石 (t)	270	230	240	4.34

(出典：財務省貿易統計)

(2) 日本企業による投資状況等

上記のとおり、双日(株)が Panasqueira タングステン鉱山の権益 100%を有している。

また、日本からポルトガルへの進出企業数は 65 社 (ジェットロ等調べ)。ポルトガルから日本への進出企業数は 2015 年 7 月現在で 3 社。(参考：外務省ホームページ)

7. その他トピックス

2015 年 2 月、政府はトロイカ融資のうち IMF 負担分である 263 億 5000 万€ (全体の約 1/3 に相当) について今後 2 年半かけて 140 億€を前倒し返済する方針を明らかにした。

2015 年 10 月 4 日には、任期満了に伴う共和国議会選挙が実施され、コエリョ首相率いる中道右派・社会民主党中心の連立政権側が、最大勢力を維持した。政権の緊縮政策には、有権者から一定の支持が与えられたが、緊縮への反発も根強く、議席は過半数を割り込んだ。(参考：外務省ホームページ他)

(2015. 10. 30 ロンドン事務所 キャロル涼子)